

製品名: パーキン (17H13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15758**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKN
別名	AR-JP; LPRS2; PARK2; parkin; parkin 2; PDJ; PRKN; PRKN2;
遺伝子 ID	5071.0
SwissProt ID	O60260
免疫原	ヒトパーキンの組み換えタンパク質

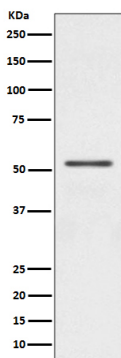
背景

パーキンは、アミノ末端でユビキチンと関連するジンクフィンガータンパク質です。αシヌクレイン毒性、プロテアソーム機能不全、GPR37 蓄積、およびカイニン酸誘発性興奮毒性からニューロンを保護する可能性があります。シナプス前終末における神経伝達物質輸送の制御およびカルシウム依存性エキソサイトーシスにおいて役割を果たす可能性があります。ニューロンのアポトーシスにおいてサイクリン E を調節します。多タンパク質 E3 ユビキチンリガーゼ複体内で機能し、基質タンパク質へのユビキチン部分の共有結合を触媒します。

研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解、パーキンソン病

画像データ



Jurkat 細胞溶解物における Parkin 発現のウェスタン プロット分析。